

最新機器を常設。講習会での利用も

小野谷機工 大阪・三宅西IC付近に

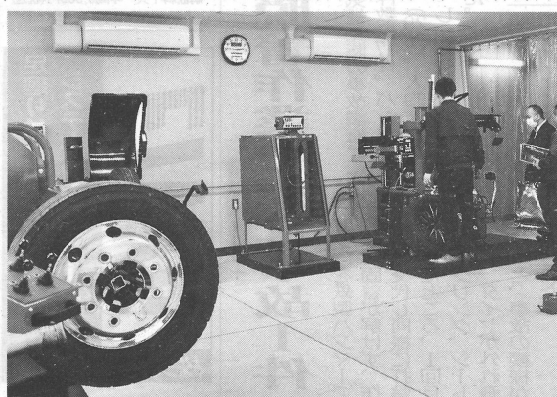
タイヤ整備機器の国産メーカー、小野谷機工は、このほど大阪営業所を移転した。20日、現地で開所を祝つ見学会を開き、主に関西エリアの顧客を中心に関係者が多数訪れた。

大阪営業所の新住所は大阪府松原市三宅西5丁目867番地1（郵便番号580-0045）。

小野谷機工は福井県越前市の本社をベースに、全国に10営業所と2駐在所のネットワーク拠点を配備し、製品の製造供給と顧客サービスにあつてゐる。今回移転オープンした



大阪営業所を移転オープン



大阪営業所11写真・11「インターチェンジからクルは、阪神高速・三宅西ICまで5分ほどのところに

位置し、交通アクセスが至便。付近は企業の事業所や物流倉庫が多いので、同社の事業環境として立地条件が整つてゐる。

規模は敷地面積634

平方メートル（192坪）延べ建床面積277平方メートル（84坪）の地上2階建て。敷地内に広い駐車場を完備した。1階スペースは営業所の事務所棟と倉庫、それ



中林一浩常務執行役員

に最新のタイヤサービス機器を常設展示するトレーニングセンター機能を併設した11写真・中。2階スペースは応接室と会議室。会議室はフリーレイアウトとし、最大で20人の収容が可能。大型モニターを完備し、講習会や研修会などグループミーティングに対応する。また会議室の隣接スペースには男女別の更衣室を完備した。女性タイヤ整備士の増加に対応するものだ。

大阪営業所長で、サ

は「タイヤ空気充てん作業者やタイヤの組み替え作業に関する講習会開催の依頼が急激に増えている。これまで出張により対応していたが、収容人数の問題や使用する機器の兼ね合いなどがあり、最新の機器で技能実習が可能ならトレーニングセンター機能に対する要望が強くなった。今回主に関西エリアのニーズに対応し、移転オープンを機にその機能を完備させた」と話す。

ビス機器営業部西日本営業部長を兼務する勝田浩志（かつだひろし）氏は写真・下は「本社には最新のタイヤサービス機器を常設した「エキシビジョンセン

ター」を開設し機器を見て実際に体験できる場を設けているが、当社営業所でトレーニングセンター機能を本格的に稼働させるのはこれが初めて。デモ実演を通して、またお客様に実際に機器に触れていただくことで、当社製品へのご理解を深めていただくにつなげることを」とし、その「サービスを体制を整え、お客様の満足度を高めることが第一。カタログや動画ではわからないこともあるので、当営業所でじっくりご覧いただき、納得いくまでご質問いただきました。作業の安全、省人化・省力化の実現に向け、最新の機器を通してご提案してまいります」と勝田所長は今後の抱負を述べた。